



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月1日

上場会社名 株式会社 スリーエフ

上場取引所 東

コード番号 7544 URL <http://www.three-f.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中居勝利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務室長

(氏名) 海老沢克恭

TEL 045-651-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	6,191	△7.2	78	—	101	442.9	121	—
22年2月期第1四半期	6,671	—	0	—	18	—	△143	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	16.04	—
22年2月期第1四半期	△18.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	18,665	5,918	30.9	762.09
22年2月期	18,003	5,843	31.7	752.20

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 5,772百万円 22年2月期 5,698百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	13,150	△4.7	290	△26.4	350	△19.7	40	△36.2	5.28
通期	25,100	△5.1	380	50.1	500	40.4	100	—	13.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 7,707,095株 22年2月期 7,707,095株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 131,996株 22年2月期 131,962株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 7,575,115株 22年2月期第1四半期 7,590,323株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出・生産の増加やエコ関連消費の促進策などにより、企業収益の改善が一部に見られたものの、雇用・賃金の回復は遅れており、先行きの不透明感などから個人消費の回復までには至らず、依然として厳しい状況で推移しております。

コンビニエンスストア業界におきましては、天候不順などの影響に加え、お客様の節約志向の進行などにより販売競争が業界内外で激化し、収益が圧迫される厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは客数の増加を図るため、創業30周年企画として、お客様に高いご支持を頂いたヒット商品の復活販売や、お得なセット販売の施策を実施する一方で、Tポイントに新たにボーナスポイントを導入するなど、ポイントサービスの仕組みの変更も行いました。また、前期から取り組んでいる商品開発、販促、店舗運営の連携強化により、カウンターフーズ、パスタ、デザートなどの商品力を強化した結果、対象カテゴリーは着実に売上げを伸ばしております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間のチェーン全店売上高は254億73百万円となりました。また、営業総収入は61億91百万円となり、営業利益は78百万円、経常利益は1億1百万円、四半期純利益は1億21百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は6億62百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、加盟店貸勘定、有形固定資産の減少等によるものであります。

負債につきましては、5億87百万円の増加となりました。これは主に買掛金、預り金の増加、短期借入金及び長期借入金の減少等によるものであります。

純資産につきましては、74百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が2億8百万円となり、仕入債務及び収納代行預り金の増加等の要因により、24億65百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産、保証金・敷金、ソフトウェアの取得による支出等により、1億8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により、13億13百万円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度と比べ10億43百万円増加し、26億60百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、第1四半期における業績が概ね計画通り推移しているため、現時点では平成22年4月1日に発表した予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,962	1,918
加盟店貸勘定	773	1,243
商品	378	378
貯蔵品	6	6
未収入金	803	444
その他	1,073	1,076
貸倒引当金	△18	△14
流動資産合計	5,979	5,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,523	2,674
リース資産(純額)	579	539
その他(純額)	881	882
有形固定資産合計	3,983	4,096
無形固定資産		
のれん	21	23
ソフトウェア	1,301	1,336
その他	60	60
無形固定資産合計	1,383	1,420
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,005	7,118
その他	344	357
貸倒引当金	△30	△43
投資その他の資産合計	7,319	7,431
固定資産合計	12,686	12,949
資産合計	18,665	18,003

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,294	4,701
加盟店借勘定	83	17
短期借入金	—	1,120
1年内返済予定の長期借入金	521	521
リース債務	109	104
未払金	926	985
未払法人税等	21	40
預り金	4,105	2,975
賞与引当金	282	182
その他	36	23
流動負債合計	11,381	10,673
固定負債		
長期借入金	79	210
リース債務	475	469
役員退職慰労引当金	23	26
長期預り保証金	771	773
その他	14	6
固定負債合計	1,365	1,485
負債合計	12,747	12,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	2,810	2,734
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,765	5,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	8
評価・換算差額等合計	7	8
少数株主持分	145	145
純資産合計	5,918	5,843
負債純資産合計	18,665	18,003

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	3,054	2,817
その他の営業収入	186	156
営業収入合計	3,241	2,973
売上高		
売上高	3,429	3,218
営業総収入合計	6,671	6,191
売上原価	2,547	2,385
営業総利益	4,123	3,806
販売費及び一般管理費	4,123	3,727
営業利益	0	78
営業外収益		
受取利息	11	20
解約精算金	11	10
その他	1	1
営業外収益合計	24	31
営業外費用		
支払利息	5	7
減価償却費	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	5	9
経常利益	18	101
特別利益		
受取補償金	—	204
その他	—	63
特別利益合計	—	268
特別損失		
固定資産除却損	110	24
リース解約損	12	1
賃貸借契約解約損	22	15
減損損失	90	119
その他	0	0
特別損失合計	236	161
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217	208
法人税、住民税及び事業税	9	8
法人税等調整額	△84	77
法人税等合計	△75	85
少数株主利益	1	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143	121

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217	208
減価償却費	246	236
減損損失	90	119
長期前払費用償却額	1	1
のれん償却額	1	1
固定資産除却損	110	24
リース解約損	12	1
賃貸借契約解約損	22	15
受取補償金	—	△204
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18	△9
受取利息及び受取配当金	△11	△20
支払利息	5	7
加盟店貸勘定の増減額(△は増加)	66	470
未収入金の増減額(△は増加)	△69	△138
たな卸資産の増減額(△は増加)	8	0
前払費用の増減額(△は増加)	4	△7
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△110	△82
仕入債務の増減額(△は減少)	488	592
未払金の増減額(△は減少)	△90	△80
預り金の増減額(△は減少)	1,557	1,131
未払消費税等の増減額(△は減少)	—	89
その他の流動負債の増減額(△は減少)	211	178
その他	—	△63
小計	2,346	2,470
利息及び配当金の受取額	11	20
利息の支払額	△5	△7
法人税等の支払額	△40	△16
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,312	2,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△138	△50
有形固定資産の売却による収入	39	—
敷金及び保証金の差入による支出	△86	△50
敷金及び保証金の回収による収入	120	160
無形固定資産の取得による支出	△95	△112
その他	△70	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232	△108

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,120
長期借入金の返済による支出	△130	△130
リース債務の返済による支出	—	△25
自己株式の取得による支出	△24	—
配当金の支払額	△60	△34
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217	△1,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,862	1,043
現金及び現金同等物の期首残高	1,047	1,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,910	2,660

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当社グループは、コンビニエンス事業を主たる事業としております。連結子会社の営むeビジネス事業はコンビニエンスストア事業の付帯事業として同一のセグメントに属するものであります。

従いまして、当第1四半期連結累計期間についての事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。